

# 『放生津八幡宮祭 曳山行事・築山行事総合調査報告書』の刊行について

## 調査報告書の章構成と内容

A4判 574頁、巻頭口絵(カラー図版)、本編全9章、資料編、付録DVD付  
写真860点 挿図166点 表54点 文献181点所収(付録DVD含む)

- 第1章 本報告書の総括として、放生津八幡宮秋季祭礼と曳山・築山行事の概要を紹介し、その特徴を分析。
- 第2章 旧新湊(放生津)地域の原始・古代から現代までの歴史について概要説明。  
特に、放生津八幡宮祭礼が始まった江戸時代以降を中心に、地理・地勢、町行政、生業・経済などについて紹介。
- 第3章 旧新湊(放生津)地域の風俗慣習・年中行事・生活文化について紹介。
- 第4章 放生津八幡宮と祭礼の歴史(放生津八幡宮の歴史と組織・祭礼の変遷・安永の曳山騒動・現代までの祭礼の変遷など)を紹介。
- 第5章 現在の曳山行事について紹介。各曳山町で実際に行事を担っている方々が作成した詳細な行事の調査記録を編集したもの。あわせて、各町曳山の特徴などを紹介
- 第6章 現在の築山行事について紹介。放生津八幡宮で実際に行事を担っている方々が作成した詳細な行事の調査記録を編集したもの。あわせて、築山に用いる古面や用具などを紹介。
- 第7章 曳山の魅力の一つである「曳山囃子」に関する、民俗音楽の専門家による民俗音楽的分析や、現在に至る歴史と継承の過程を紹介。囃子の担い手である「囃子方」に焦点をあてた調査報告と論考。
- 第8章 歴史・民俗の専門家による曳山行事・築山行事の民俗学的論考。
- 第9章 曳山・築山行事が抱える課題や将来の展望。
- 資料編 築山と各町曳山の実測図、江戸時代後期以降の曳山巡行順番、放生津八幡宮祭礼と曳山・築山に関する文献史料などを掲載。
- 付録DVD 曳山の实測図(彩色実測図・縦横断面図)、毎年趣向を凝らした築山飾りの写真などを収録。

**花傘山とは** 山・鉾・屋台の一類型。曳山の中心に一本柱を立て、天辺のダシと花傘で飾るもの。

高岡御車山が代表例とされ、放生津・石動・氷見・伏木・四方・福野・海老江・大門など、県西部を中心に分布している。

- その他 中央に立てた柱に横木を渡して提灯を吊る「タテモン」(魚津)  
竹ひごや和紙を用いて立体的な造形を作る「夜高」(福野・砺波・庄川・津沢)  
屋形造の本体に人形を乗せ、全体を数多くの彫刻や鍔金具で飾る「人形山」  
(城端・八尾・大久保)  
曳山の上に舞台を造り出し、その上で歌舞伎や浄瑠璃などを演じる「芸屋台」(砺波)  
内部に囃子方が入ったり、太鼓を載せたりする小型の屋台「囃子屋台・太鼓台」  
(城端・福野・井波・氷見)

## 調査事業の経緯

事業名 「射水の築山・曳山行事調査事業」(国庫補助事業)

事業の目的 富山県指定無形民俗文化財「放生津八幡宮の築山行事」及び「放生津八幡宮祭の曳山行事」の学術的な調査を実施し、両行事を一体的な文化財という新たな視点から評価し、国重要無形民俗文化財指定を目指す。

事業期間 平成29～令和元年度(3か年)

事業費 9,915千円(国費:4,116千円 県費:2,058千円 一財:3,741千円)

調査体制 射水市教育委員会が主体となって実施。「射水の築山・曳山行事調査指導委員会」(事務局 射水市教育委員会)を組織し、文化庁・富山県教育委員会・射水市文化財審議会の指導・助言を受けた。

### 【射水の築山・曳山行事調査指導委員会】

委員長	● <small>よねほら</small> 米原 <small>ひろし</small> 寛	射水市文化財審議会長 元富山県[立山博物館]館長
副委員長	● <small>にしおか</small> 西岡 <small>ようこ</small> 陽子	大阪芸術大学文芸学科教授
委員	● <small>きとう</small> 鬼頭 <small>ひであき</small> 秀明	中京大学非常勤講師
	● <small>しまざき</small> 島崎 <small>つよし</small> 毅	元射水市新湊博物館長
	● <small>しまぞえ</small> 島添 <small>きみこ</small> 貴美子	富山大学芸術文化学部准教授
	● <small>もり</small> 森 <small>たかし</small> 俊	富山民俗の会代表
	<small>おおとも</small> 大伴 <small>やすたか</small> 泰貴	放生津八幡宮築山・曳山保存会(放生津八幡宮)
	<small>えび</small> 海老 <small>まさゆき</small> 雅幸	放生津八幡宮築山・曳山保存会(新湊曳山協議会)
	<small>たかまつ</small> 高松 <small>としひこ</small> 俊彦	放生津八幡宮築山・曳山保存会(新湊曳山協議会)

※●=調査報告書分担執筆者

調査の特徴 総合調査として、現在の曳山・築山行事の実施記録を中心に、両行事が継承されてきた背景にある地域の歴史・風俗慣習・年中行事・文献史料などの関連分野も調査対象とした。

調査指導委員会には、文化財保存団体関係者も加わって当事者目線での様々な提言をいただいた。また、実際に行事を担っている地元の方々が調査に参加し、行事の準備から片付けに至る詳細な記録作成や行事運営に関する調査票の作成などに協力をいただいた。

調査の経過	平成29年度	放生津曳山行事・築山行事実地調査(調査記録及び調査票作成)・文献史料整理(柴屋文書)
	平成30年度	他地域曳山行事など比較調査・放生津曳山・築山行事補足調査・文献史料整理
	令和元年度	補足調査・調査報告書執筆編集